

二〇二〇年七月の作品（六・七月作）

海塩弘子さん

○忘れまじ 七夕の夜 千葉空襲

○七夕の あの夜の空襲 忘れまじ

○彦星と おり姫愛 コロナ逃げ

○とまりたる 蚊の腹赤く ふくらみむ

○手にとまる 蚊にも命を ううる音

○空いっぱい 花火師たちの 心意気

○コロナなど 飛ばしてしまふ 上げ花火

○花火師の 意地と真心 花ひらく

○梅雨の朝 夜明け前かと 疑いぬ

○梅雨入りも 時ならぬ豪雨に むかえられ

○久し振り 梅雨の晴れ間に 頬ゆるむ

○点滴が 静かに流れる 初夏のよい



